

とくていぎのう ごうひょうか しけん
特定技能1号 評価試験

かいよう どぼくこう しょくしゆ
海洋土木工 職種

じつぎ しけん
実技試験

じつぎ しけん ないよう い か とお
実技試験の内容は以下の通りです。

じゅけんしゃ しけんかん しじ したが じつぎ すべ
受験者は試験官の指示に従い、実技1から3の全てを
おこな
行います。

じつぎ さぎょうせん がんぺき もけい つか つなと さぎょう おこな
○実技1は、作業船と岸壁の模型を使って、綱取り作業を行
う試験です。

しけん じかん ふん
・試験時間：10分

じつぎ じゅんび きぐ えら あ
○実技2は、準備された器具を選んでブロックをつり上げら
れるようにする玉掛作業を行う試験です。

しけん じかん ふん
・試験時間：10分

じつぎ しょうは すえつ さぎょう
○実技3は、消波ブロックを据付けるクレーン作業のビデ
オを見ながら、指示される合図を出す作業を行う試験です。

しけん じかん ふん
・試験時間：5分

ちゅういじこう
○ 注意事項

ふくそう さぎょう やす ふくそう さぎょうふく
・服装は、作業がし易い服装（作業服など）としてください。

しけんちゅう ぐんて ほごてぶくろ つか しけん
・試験中は、ヘルメットと軍手（保護手袋）を使います。試験

とき しけんかん ようい ぐんて ほごてぶくろ わた
の時に試験官が用意したヘルメットと軍手（保護手袋）を渡し
ます。

いじょう
以上

じつぎ もんだい
実技 1 問題

さぎょうせん がんぺき けいりゅう
作業船が、岸壁に 係留するところです。

まえ お がんぺき さぎょうせん
前に 置いてある 岸壁のビット、作業船のビッ
トと けいりゅう つか つなと さぎょう
係留ロープを 使って「綱取り作業」を
してください。

しけんじかん ふん
(試験時間：10分)

じつぎ しけん じっしほうほう
実技 1 試験の実施方法

しつない がんぺき さぎょうせん も
室内において、岸壁のビット、作業船のビットを模し
た装置と係留ロープを使って、綱取り作業を行わせて、
いちれん さぎょう いな かくにん
一連の作業ができるか否かを確認する。



いちれん さぎょう
一連の作業が
お じょうきょう
終わった状況



いちれん さぎょう
一連の作業の
とちゅうだんかい じょうきょう
途中段階の状況



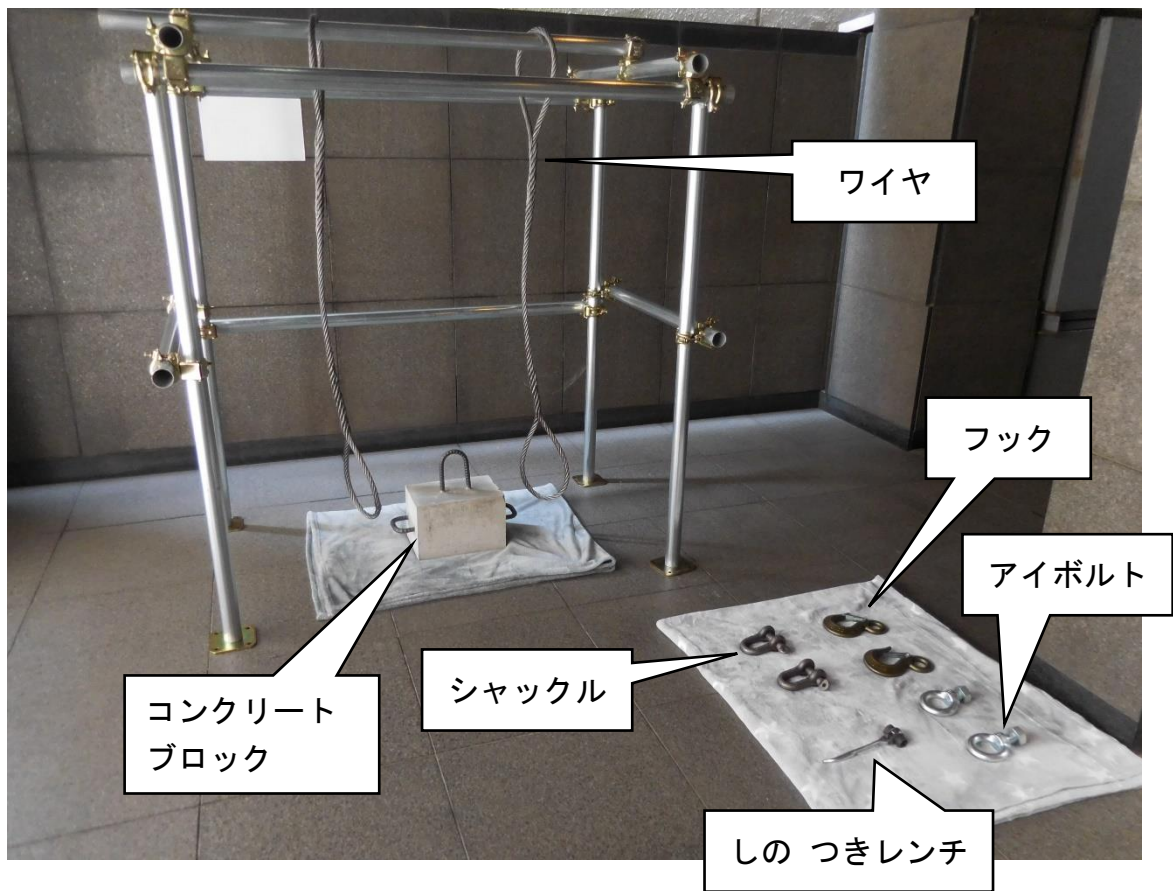
じつぎ もんだい
実技2 問題

これから、つり筋^{きん}の ついた コンクリートブロッ
クを つり^あ上げるための 玉掛^{たまがけ}作業^{さぎょう}をするところ
で す。前^{まえ}に つり^さ下がっている ワイヤから 正^{ただ}しいワ
イヤを^{えら}選び、 準^{じゅん}備^びした器具^{きぐ}から 正^{ただ}しい器具^{きぐ}を^{えら}選
んで、ワイヤに 器具^{きぐ}を と っ 取り付けて、コンクリート
ブロックを つり^あ上げる 準^{じゅん}備^びをしてください。

しけんじかん ふん
(試験時間：10分)

じつぎ しけん じっしほうほう
実技2 試験の実施方法

しつない いか そうち じゅんぴ ただ き
室内において、以下のような装置を準備し、正しい器
ぐ せんたく きぐ ただ れんけつ いな かくにん
具の選択、器具の正しい連結ができるか否かを確認する。



じつぎ もんだい
実技3 問題

これから、クレーンで 消波ブロックを 据付ける 作
業ぎょうをするところです。これから 見せる 作業さぎょうの ビデ
オに 合わせて 正しい合図あ い ずを出してください。

しけんじかん ふん
(試験時間：5分)

じつぎ しけん じっし ほうほう
実技3 試験の実施方法

しょうは す っ
スクリーンにクレーンで消波ブロックを据え付ける
さぎょう どうが うつ した しめ さぎょう ばめん どうが
作業の動画を映し、下に示す4つの作業の場面で動画
と ばめん あいず ただ いな
を止める。それぞれの場面で、合図が正しくできるか否
かを確認する。

